

令和元年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(福)豊立会	代表者	鈴木 俊孝	法人・事業所の特徴	日々笑顔にあふれたアットホームな雰囲気施設の施設です。通いであっても自宅へ送ったら支援が終わりではなく、24時間ご利用者の状況を把握して、必要な介護が出来るように支援しております。また、宿泊や訪問の支援も顔なじみの職員が支援しており、関係も深まり安心へと繋がっています。またご家族様と、情報を共有することでご利用者の最適な支援へと繋げ、季節に合わせたイベントや外出行事も多く、苑庭で栽培した野菜を収穫して食材にするなど楽しみのある施設となっています。ご利用者様からの意見を取り入れ、活動に活かし、一人ひとりに合わせた日常生活動作の向上が図れるように支援しております。朝の訪問支援や夕食を食べてからの送迎、急な宿泊の対応など可能な限り柔軟に対応して、独居の方の支援や、ご家族様の介護負担の軽減を図れるように努めております。
事業所名	まんぎきの家玲光苑	管理者	鈴木 俊孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	10人	1人	2人	2人	1人	0人	5人	0人	22人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の中で多くの職員が「できてない」を選択した項目について、必要な勉強会の出席を積極的に進めると共に、会議等で職員全体で検討を重ね、サービス向上に向けて、さらに取り組んでいく。	スタッフ自己評価を行うことで各職員の持つ課題が明確になった。事業所自己評価であげられた『研修に参加出来ていない』項目を改善するため、毎月の会議の中でミニ勉強会を行わない、サービスの質の向上に努めている。		事業所自己評価の中で、介護・福祉の事業所として専門性を活かした取り組みを地域に発信する機会が少ないとの意見が多く寄せられた。広報誌の内容の見直しや地域行事の中で情報発信する機会の確保に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域包括支援センターと連携して地域の困りごとを相談できるようなイベントを開催し、地域の方に気軽に訪問して頂けるような環境づくりに努める。	地域包括支援センターと連携して「認知症カフェ」を開催。多くの方に参加して頂き、地域の方が気軽に立ち寄って頂けるきっかけを作ることができた。	・「家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫がなされているか」との問いには、スタッフの人々の熱意を感じる対応そのものが工夫と感じている。	定期的に施設で「環境美化デー」を設けて建物や敷地の整備を行う。また、地域より防犯に対する情報を頂く事もあり、施設の防犯対策強化も検討していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域貢献を視野に入れながら、施設自らが地域資源となるよう専門性を活かした活動やイベント等を行い、地域との繋がりを深めていく。	地域の行事に参加して健康体操など担当させて頂いている。また「認知症カフェ」を開催した事で、地域の方々へ事業所の取り組みを伝えることはできたが、初回であった為、専門性を持ったテーマや相談の機会を作ることができず次回への課題となった。	・困りごとや相談ごとがある場合、話しやすい雰囲気があると良い。 ・地域行事やイベントに大いに参加していただき、施設を知る良い機会となっている。	施設主催のイベントや「認知症カフェ」の開催を通じて、専門性を持った講座や相談会を行うことで、施設が地域の方々の社会資源として機能していくよう取り組んでいく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	施設周辺以外のご本人が暮らす地域でも活動報告の他、支援内容や活動について知って頂く努力を行う。地域のニーズにあった勉強会やイベントを実施していく。	暮らしの地域での関係作りの一環として、ご本人が暮らしている地域に出向き、買物支援などを行うことで施設と自宅の往復だけでなく「暮らし」を支える支援が出来た。	・二宮神社への初詣や季節折々のイベントへの外出行事など利用者の気分転換になっている。	ご本人が暮らす地域の民生委員や地域包括支援センターと情報交換を行い、地域それぞれの取り組みや現状の把握に努める。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議で出たご意見を、支援や活動、施設運営に活かしていく。また地域との協働した取り組みを計画し、風通しの良い施設づくりに努めていく	運営推進会議で頂いたご意見の中で、「野菜栽培」「充実した外出行事」「食の楽しみ」の3点は「まんぎきの家」の取り組みの中でも高評価を頂いており、今後も継続していく。	・まんぎきムービーや活動報告で施設での生活の様子が良く分かった。 ・地域の心配な方の事例検討の質問では該当者がなく議題になっていない。	運営推進会議にて地域包括支援センターの方と連携して事例をもとに民生委員や小規模多機能型の役割を検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の中の事業所として、地域の防災の1拠点としての役割を担う。運営推進会議のプログラムの1つとして、委員参加のもと、より多くの地域の方の参加を呼びかけ、施設の消防訓練を実施する。	運営推進会議の中で法定基準の消防訓練を継続して実施している。各委員や近隣の方にも訓練へ参加していただくことで、入居者様の状況や施設の様子も確認して頂いている。	・防災について地域がやっと動き出した段階だが、協力していきたい。 ・災害時、事業所の専門性を活かして大いに地域の助けになると思う。しかし、まんぎきの家のスタッフの事を考えると、これ以上求めるのは酷と言えらると思います。	今後も地域の中の事業所として、地域の防災組織と連携をとり、地域防災の1拠点として専門性を活かした役割を担う。